

5月 あつぎ・九条の会

現在会員 **1642人**

〒243-0206
厚木市下川入369-4
TEL 046-246-0179
編集責任者 大友 三昭
E-Mail ohtomo3m@yahoo.co.jp

切手「寄付のお願い」!
「あつぎ・九条の会」ニュースは、厚木市、愛川町、清川村の会員すべて手配りしています。その他に、メール配信会員・郵送会員が全国におります。もし、お手持ちの切手などがございましたら、ご寄付いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

5・3憲法大集会 新たな戦前にさせない・ 守ろう平和といのちとくらし

2023年の憲法記念日に「平和といのちと人権を! 5・3憲法集会実行委員会」主催の2023憲法大集会が東京有明防災公園にて2万5000人が参加(厚木・愛川から10名参加)で行われました。

実行委員会を代表して高田健さんが開会の挨拶。この集会は2015年にスタートし、その時の大江健三郎さんのスピーチを紹介し、それがこの集会の基本と話されました。本日の産経新聞に岸田首相は任期中(来年9月)までに憲法改正をすると明言した。「もうすでに新たな戦前になりつつある。この集会の力を結集して国民投票をさせないようたたかきましょう!」と訴えました。

続いてスピーチを3名の方が行い、室蘭工業大学教授の清水愛砂さんは、防衛3文書は力で弱い人を支配する社会に繋がっている。私は、脆弱な人が輪をつくり広げ、手を離さないようにしたい。

沖縄大学地域研究所特別研究員の泉川友樹さんは、沖縄返還50年を向かえたが基地問題は何ら解決していない。それどころか台湾問題をあおり、中国との緊張を高めている。日中共同声明の原点に戻り、平



り、軍拡、憲法改悪が進められている。私達は憲法9条を掲げ、市民とともに全力で戦っていきます。」と宣言。

国会議員挨拶は、立憲民主党西村智奈美代表代行、日本共産党志位和夫委員長、れいわ新撰組共同代表榊原万里、社民党福島瑞穂代表が話されました。

新潟市民連合共同代

表の佐々木寛さんは、憲法の精神が崩されている。国民は詐欺にあっている。かつて中曽根首相が「日本は浮沈空母」と言ったが、まさに今その状況になっている。私達は非暴力の力で市民と連帯し、私達が出来ることを一緒にしよう。と訴えました。

市民リレートークでは、入管法の改悪案廃案の署名の訴え、馬毛島基地建設反対、性差別問題の訴えがありました。

行動提起を総がかり実行委員会の小田川義和さんが行いました。世論調査では43兆円の軍拡には50%が反対、軍拡増税は68%が反対。国会と意識の乖離がある。今、戦争か平和かの岐路にたっています。「改憲発議NO」「大軍拡・大増税NO」の署名を粘り強く取り組んでいきましょう。と訴えました。(大友三昭)

「本厚木駅前行動」

「9条改憲反対!市民アクション厚木・愛川・清川の会」の呼びかけで、5月3日の集会「あつぎ・九条の会」の呼びかけで、新たな戦前にさせない!本厚木駅前行動」に25名が参加。約40分間、プラカードを掲げ、6名のトークを交え、署名とスタンディングで「大軍拡NO!大増税NO!」を訴えた。



《行事案内》

- ・あつぎ・九条の会サポーターの会
6月6日(火) 14時~
保健福祉センター 研修室
- ・厚木市九条の会ネットワーク会議
6月9日(金) 14時~
保健福祉センター 作業室
- ・9の日行動
6月9日(金) 16時~
本厚木駅北口
- ・映画紹介「あつぎ映画館kiki」
「妖怪の孫」5月11日まで14:45~
「プーチンより愛をこめて」同9:45~

川柳

妻田(安芸礼太)
「脱」と「反」十年過ぎて木阿彌に
舌足らず四万十うなぎ堪能し

旭町(紀)

軍拡も大増税もパワハラだ
戦争の空気流され超危険

下古沢(和)

これ異次元国民見棄て軍地下へ
法の下2億で保釈不平等

愛川(康)

事故もなく脱原発のドイツ人
妖怪のひ孫映画はおことわり

王子(幹)

岸田さんJアラートで歯医者行く

下川入(昭)

何を支持し割を超えた支持率は
龍一さん亡けど魂生きてます



冒頭のことば、「私は知っていること、見聞きしたことは黙ってられない性分なんです」。

一瞬にして会場全体が金平ワールドに引き込まれていきました。一つひとつの話に奥行きがあり、現場で体験した人だからこその迫力と具体性、説得力がありました。

私はいちいち「そうだ。その通りだ!」と相槌を打っていました。ベラルーシのルカシェンコ大統領に対する緊迫の、旧統一協会幹部への視

金平講演会を聞いて

はほとんど見ていました。講演中、彼も言っていました「最近はいいたいことを言うマスコミ人が減ってしまった」と。

(中村祐一)

金平茂紀さんの講演から

4月27日(木)、厚木市文化会館小ホールにて厚木市九条の会ネットワーク主催で、ジャーナリストの金平茂紀さんを講師にお招きし、「殺すな!報道の自由2023」をテーマにしたの講演会が実施された。

平日にもかかわらず、200名を超える方々にお集まりいただきました。以下に、一部を紹介します。

金平さんは「私は言っちゃいけないと言われると、言わなければ済まないものでして」と語りながら講演を始めた。

歴史の分岐点

徹子の部屋で「どんな年?」と聞かれたタモリさんの、2023年は「新しい戦前になるのでは」を取り上げた。2022年は歴史の分岐点になる事件が起きた。

一つはウクライナ戦争。正義論&平和論で二分化。正義(西側)の戦

小西参議院議員は憲法審査会の開催方法を「サルのやりかた」と発言し非難されましたが、現状の審査会をみると小西議員の認識が正しいと思います。

なぜなら憲法に「国会議員は護憲の義務を負う」と明記されているからです。最高法規を守れないような議員はサル以下です。

第九十九条(以下99条)

天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ。そこで99条の意味が大変重要で、日本語の「擁護」は「遵守」とは違

争で悪(東側)を駆逐する。常任理事国のロシア自身が戦争を始めたので、平和を求める国連が機能しなくなった。

もう一つは七・八事件(安倍元首相の銃撃殺害事件)。「パンドラの箱が開いた」かに見えたが、国民多数が反対でも国葬を強行し、事件の早期幕引きをした。明らかにになった統一教会と政治家とのズブズブの関係は未解明のまま。萩生田、下村、甘利らはなお中枢に居座っている。

ウクライナがロシアから戦争を仕掛けられたのは防衛力が弱かったからと主張し、火事場泥棒的に米国の求めに依じて防衛費をGD



うにもかかわらず、その擁護を遵守とすり替えています。これは権力側の恣意的な誤用であり我々国民も誤解させられています。

その証拠はのGHQ憲法草案自身にあります。

サルの憲法審査会

Article XCI The Emperor upon succeeding to the Throne and the Regent Ministers of State Members of the Diet Members of the Judiciary and all other

P比2%とした。財源論もなく数字ありきの5年間で43兆円を決めた。これで戦争放棄の憲法を持つ日本が、

米国、中国に次ぐ世界第三位の軍事大国になる。広島・長崎に落とされた原子爆弾で敗戦し、「戦争は二度としない」と決めた憲法第九条に違反すると、語気を強めた。

沖縄県石垣島を取材した。自衛隊駐屯地開設に反対する無防備の住民に対し、銃を持つて隊列を組んだ隊員の威嚇行為を目の当たりにし、日本起きていたとは信じがたい光景に衝撃を受けた。

原発の再稼働、運転期間の延長

GX推進法案で、原発の新規増設を次世代革新炉と官僚用語で国民を誤魔化す。運転休止期間は延長期間にカウントしないを、「眠っている間は年齢に加えない」に等しい!とユーモアを込め皮肉った。

市民活動を制限

G7広島サミットが5月19日から21日に開催されるのを前に、金平さんによる「はだしのゲン」をプロ

public officers upon assuming office shall be bound to uphold and protect this Constitution . 「uphold and protect」は憲法遵守義務ではありません。

プロテクトは危害、危険などの好ましくないものを受けないように防御することです。アップホールドはさらにその意味を深めています。

全ての国会議員は護憲派でなければならぬことを訴え続けたいと思います。(伊部康雄)

んは広島を取材した。高速道路や一般道路の規制、JR・路面電車・路線バス・高速バスなどの状況、学校の休校や保育施設の休業予定、商業施設・企業・公的機関の状況、平和公園や宮島の立ち入り制限、飛行制限、船舶航行制限などで、市民活動が停止される。

広島が広島でなくなる

ウクライナ戦争が長期化し、停戦・和平の見通しが見えないだけでなく、米中対立を背景に、東アジアでの安全保障環境の急変が声高に叫ばれる中、議長国日本から被爆都市広島で核兵器禁止の共同宣言がなければ、平和の証である広島が広島でなくなるとした。

広島市教育委員会は、小中学校と高校で行っている「平和教育プログラム」で、漫画「はだしのゲン」の教材への掲載を取りやめた。

金平さん達は、5月17日に「核廃絶を求めるG7サミット直前広島イベント」を計画、講師・神田香織さんによる「はだしのゲン」をプログラムに入れていく。

少数派でも声を上げ続ける

「ここにいる皆さんは少数派です、それでも声を上げる、ユーモアを忘れる、若い世代と共に、身近なところから変えていきましょう」と結びました。

そして講演後のQ&Aでも、金平さん流の言葉で丁寧な答えてくださいました。

金平さん、本日の講演ありがとうございます。(北川和麿)

つばき

戦争は人殺しです。映画監督のチャップリンは『殺人狂時代』の中で、「一人を殺したら犯罪者になるが、大量に殺せば英雄になる」と言いました。戦争は少し想像力を働かせれば、やはり大切な家族を持つ敵を殺すことになり、それを正当化するものなど、この世には一切ないと私は考えます。

政府は何かというと「国土」「国土」と言いますが、戦争をするくらいなら、私は「国土」を捨て、家族とともに戦争のない土地に移り住む決意です。そんな抽象的な「国土」(これだつて歴史を勉強した人であれば、北海道はアイヌの人たちの土地を奪ったものだし、沖縄は琉球王国を薩摩藩が滅ぼして日本に編入した事実が忘れられています)、そんなもののために、戦争を起こす勇氣(?)など私は持ち合わせていないし、持つ必要もないと思います。

(後藤幹生)

「世の中を変える」は、とてつもない大きなこと。金平さんの講演を聞いて一番印象に残った言葉があります。隣の人に想いを話せますか? 周りが変わらないうで世の中を変えることはできない。

私には、世の中を変えるという見方はありませんが、「戦争は絶対ダメ!」という想いで「九条の会」に参加しています。この思いを周りの人とおしゃべりをしたり、子や孫には絵本を通して伝えていきます。これから常に心がけたい言葉です。

(英)